

市政に対する

一般質問

各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧ください。



柴 恵 議員

- 令和4年度当初予算について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進について
- 真岡市の将来の社会資本整備について
- 市営墓地の整備について
- 教育行政について



一般質問はこちら

更なる交通の利便性向上に向け 国・県道の整備促進を

代表質問

市内一円に道路が網羅されつつあり、生活環境の改善や輸送量の増加による生産性の向上など、本市発展の大きな要因となっています。しかし、いまだに慢性的な渋滞や交通事故の発生に加え、産業団地、観光拠点施設等と幹線道路を結ぶアクセス道路不足など課題も多くあります。

更なる交通の利便性向上や地域経済への効果を見据え、市内における主な国・県道の整備状況について伺います。

答弁

国道408号真岡南バイパス及び国道294号二宮拡幅は、現在4車線化が進められており、国道408号は県道真岡上三川線との交差点部の立体化に向けた設計・工事が進められ、国道294号は測量・調査に加え、一部工事に着手しています。

また、二宮地区から下野市の新4号国道へアクセスとなる県道栃木二宮線は、用地取得が済んだ区間から順次工事に着手し、残る用地取得にも取り組んでいると聞いています。



中村 和彦 議員

- 「まちづくりプロジェクト」の総括と今後の展開について
- 教育分野の諸課題について
- 子育て世代への支援策について
- 大河ドラマの誘致について
- 芳賀地区広域行政事務組合が進める斎場の整備について



一般質問はこちら

子ども医療費無料化の対象年齢引き上げの早期検討を

代表質問

子ども医療費無料化の対象年齢は、県内14市のうち7市が、すでに18歳までという状況にあります。

他市が対象年齢の引き上げを着々と進めている中、それに後れをとることは、本市が目指す「子育てしやすいまちづくり」というブランドを確立する上でも、マイナス要因だと考えます。

子ども医療費の対象年齢引き上げについて、周囲との調整も含め、いつ頃までに結論を出すのか伺います。

答弁

子ども医療費無料化の対象年齢引き上げについては、昨年9月に県内で統一的な対応がとれるよう、市長会と町村会から、県に対して、子ども医療費無料化の対象年齢の拡大についての要望書を提出したところであります。これを受け、県から子ども医療費助成制度のあり方について検討を進める旨、市長会と町村会に報告がありました。

本市では、検討会の動向を注視してまいります。

※真岡市の子ども医療費の助成対象期間：出生日または転入日から中学3年生（15歳に達する日以降の最初の3月31日）までにかかった医療



服部正一郎 議員

- 一般県道西田井二宮線の整備計画について
- 市道126号線の整備について
- 農業行政について
- 有害鳥獣対策について



一般質問はこちら

一般県道西田井二宮線整備の進捗状況と今後の整備計画は

質問

一般県道西田井二宮線の整備状況は、石島工区、物井工区が順調に整備され、令和4年3月に開通式を迎える予定で交通の混雑解消、通勤通学の利便性が期待されます。

また、東部地区の主要な幹線道路である東大島工区は、地域との合意形成がなされ、着工への道筋も明確になり、1日も早い完成が待たれるところです。そこで、東大島工区の進捗状況と小林区、西田井区も含む今後の整備計画を伺います。

答弁

県では昨年10月に地元説明会を開催し、バイパスによる道路線形案について、地域との合意形成が図られたことから、現在、詳細設計等を実施し、今年秋頃には、詳細設計に関する地元説明会を予定しています。

令和4年度以降は、用地測量等を行うとともに、用地取得に着手し、順次、整備していく方針です。

また、小林区・西田井区の整備は、東大島工区の整備状況を踏まえながら取り組んでいくと聞いています。

※道路線形案：山前小南交差点を起点とし、旧山前南小西側を通過し、高田地内の主要地方道つくば真岡線を終点とする延長約3.2km



大瀧 和弘 議員

- オーストラリア西オーストラリア州ハーヴィー市との友好都市の締結について
- 教育行政について



一般質問はこちら

中学校の姉妹校締結の考えは

質問

本市9中学校のうち6校は姉妹校の締結を結んでいますが、二宮地区の3中学校は姉妹校の相手校が見つからないという状況が続いています。そうした中、11月19日にオーストラリアのハーヴィー・シニア・ハイスクールと生徒同士のオンラインによる交流が行われました。

長年の懸案事項であった二宮地区3中学校と姉妹校の締結を結ぶべきだと思いますが、そうした考えはあるのか伺います。

答弁

ハーヴィー・シニア・ハイスクールとのオンライン交流では、生徒たちがそれぞれの学校や日常生活、文化について、笑顔で語り合う様子がありました。教育委員会としては、将来的に姉妹校関係を築き、相互交流を進めていきたいと考えており、3校ともその考えを共有しています。

今後、ハーヴィー市との友好都市締結後、相手の意向を確認しながら姉妹校締結を目指し、対話を進めていきます。



春山 則子 議員

- 環境整備について
- 買い物難民対策について
- 中止になった「いちごのまちdeイチゴツーリズム」について
- 教育行政について



一般質問はこちら

買い物難民対策として開始した移動スーパーの現状は

質問

本市、市社会福祉協議会及び株式会社の間で地域の見守りと買い物支援事業に関する協定を結びました。

この協定は移動販売による買い物支援策を実施することで、買い物に困難を感じている市民を支援するとともに、地域の人々にコミュニティの場所を提供し、見守り活動を推進することが目的です。今年2月から高齢者の買い物支援や交流を目的に移動スーパーの運営が始まりましたが、その現状について伺います。

答弁

移動スーパーの運行日は、月曜日から金曜日の週5日で、販売場所は地域公民館等を利用して1日、7～8か所を巡回しています。

1日の平均利用者数は約60人で、1か所の平均利用者数は8～9人でした。

利用者からは、「自分で見て好きな物を選べるので楽しい」「普段、会えない人に会えてうれしい」などの声があり、地域の集いの場として、喜ばれています。



飯塚 正 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 気候変動対策について
- 消防団員の処遇改善について
- 原油価格高騰について
- 新庁舎駐輪場について



一般質問はこちら

原油価格高騰への対策は

質問

令和3年から原油価格の高騰が依然として続いています。そのため、ガソリンや灯油などを使用している中小事業者や個人事業主、生活困窮者、年金暮らしの高齢者世帯など、経営や日々の生活に苦しい影響を及ぼしています。12月定例会において私の質問で取り上げた点を踏まえ、今後も原油価格高騰が続くならば一部助成し、支援する必要があるのではないのでしょうか。また、助成するための制度化を求めます。

答弁

燃料油価格の高騰に対する助成について、市において新たに助成制度を創設する考えはありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたタクシー事業者が、市民の日常生活を支える交通手段を提供するために安定的な運行を継続できるように、燃料価格高騰についても支援が必要があることから、令和3年度中に真岡市タクシー事業者燃料価格高騰対策緊急支援事業を実施します。



池上 正美 議員

- 暮らしやすい街づくりについて
- 紙おむつ購入助成事業について
- 縁組対策について



一般質問はこちら

ねたきり高齢者等紙おむつ給付を宅配による現物給付に

質問

ねたきり高齢者等紙おむつ給付事業では、紙おむつ給付券を交付し、家庭ごとに市と提携したお店に行つて紙おむつを購入します。しかし、ねたきり高齢者等の世帯では、2人暮らしが多く、特に運転免許証を返納すると、大きな紙おむつの持ち運びに大変苦労していると聞きます。

現在の紙おむつ給付券の交付ではなく、他市町のように、紙おむつの給付を宅配による現物給付に変更できないか伺います。

答弁

本市では、紙おむつ給付券を交付し、市内34店舗で購入できるよう支援をしています。

また、宅配による現物給付については、県内では宇都宮市をはじめ4つの市町で実施をしています。

宅配による現物給付にすることで、多種多様な商品の中からそれぞれの状態に合った商品を選べなくなり、選択肢が減るなどの課題もあることから、利用者の意見を聞くなど、今後、調査研究をしていきます。



榑毛 隆行 議員

- 真岡市DX戦略計画について
- 真岡まちづくりプロジェクトについて
- 地域おこし協力隊について
- 農業行政について
- 消防団活動について



一般質問はこちら

スマート申請システムの 利用に必要なものは

質問

真岡市DX戦略計画案では、来させない・待たせない・書かせない市役所を実現するため、各種行政手続がオンラインで完結するスマート申請システム導入が予定されています。

スマート申請サービスを利用する場合、専用のシステムや専用アプリが必要となるのか、また申請の際の個人認証はマイナンバーカードが必要となるのか、必要となる場合マイナンバーカードの普及をどのような計画で進めていくのか伺います。

答弁

スマート申請システムの利用方法としては、専用アプリをはじめ、市ホームページ及び市公式LINEからの利用を予定しており、専用システムは必要ありません。本人確認を要する手続はマイナンバーカードが必要ですが、交付事務職員の増員、タブレットによる申請サポート、休日窓口開庁時間の拡充、出来上がったカードの郵送サービスなど、様々な取組を実施し、令和6年度末の交付率70%を目標としています。

※DX：デジタル・トランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用して新しい価値やサービスを生み出すこと。



柳田 尚宏 議員

- 井頭周辺活性化事業について
- 公共料金について
- 公共交通網について
- ふるさと納税について



一般質問はこちら

井頭公園周辺に 遊具を増設する考えは

質問

真岡市にも、総合運動公園子ども広場のような、子どもたちが安全に楽しく遊べる場所があります。数多くの公園がありますが、大勢の子どもたちが遊べる施設ではありません。

今後、井頭公園周辺を整備していく中で、真岡市総合運動公園子ども広場のような遊具の増設、もしくは小規模遊園地、例えば前橋市の「るなぱあく」のような未就学児が楽しめる施設の設置、建設を考えているのか伺います。

答弁

井頭公園の東駐車場から井頭温泉の駐車場、あくりっ娘の駐車場までの南側エリアの一部について、芝生広場として整備する協議を進めています。芝生広場には、食に関するエリアと遊びに関するエリアを盛り込む予定であることから、遊具の設置も選択肢の一つとして検討していきます。検討にあたって課題の整理を行っているところであり、引き続き、井頭周辺エリア活性化協議会などにおいて協議を進めていきます。



荒川 洋子 議員

- 条例の制定について
- 高齢者支援について
- 子育てに関する支援について
- 妊産婦の支援について



一般質問はこちら

犯罪被害者等支援条例の制定を

質問

市として、犯罪被害者等の支援に関する施策の総合的、計画的な推進を図る必要性を感じているところで、また、犯罪被害者や遺族に見舞金を給付する制度の創設も、早急にお考えいただきたいと思えます。

市民が頼る最も身近な組織である市が取り組むことは、犯罪被害者やその家族の日常生活・社会生活を早期に回復することにもつながるため、見舞金を給付する制度や条例を制定してはどうか伺います。

答弁

国は法律に犯罪被害者等への支援を定めており、県は令和3年3月に栃木県犯罪被害者等支援条例を制定し、同年4月に施行、また同年12月から栃木県犯罪被害者等見舞金制度が設けられたところです。

本市としては国、県の支援に加え、最も身近な行政機関としてよりきめ細かな支援ができるよう、また早急に経済的な支援ができるよう、令和4年10月の施行に向けて条例の制定に着手しています。

議員案を提出、可決しました。

議員案第1号

ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議する決議

現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう、政府に対して要請する姿勢を、真岡市議会として表明するものです。

議員案第2号

中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書

「要望第3号 ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い」及び、「要望第4号 ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い」の2件が、総務常任委員会の審査において全会一致で採択されたことを受け、直ちに日本政府として調査し、各種問題があった場合は、様々な手法を用いて厳重に抗議することを、真岡市議会として要請するものです。